

2023/04/28 鬼木まこと活動報告

地域公共交通の維持・再生について議論しました

少子高齢化の進展による地方部の過疎化は深刻な状況にあります。その中で、地域住民の通勤・通学や通院などの移動手段として日常生活を支えている地域公共交通は、コロナ禍の影響もあり、厳しい経営状況となっています。

今後の地域公共交通を維持・再生するための「地域公共交通活性化法案」の審議にて4月20日に質疑に立ちました。

法改正により、赤字ローカル路線のあり方の見直しのために鉄道事業者や自治体、地域の関係者による再構築協議会を設け、「廃止」や「存続」という前提なしで利用者目線による協議が行われることとなります。

自治体の関与が大きく求められますが、自治体には専門人材がほとんどいないため、人材の確保・育成が急務です。また、自治体が交通モードに対して補助を行うにも財源が必要です。総務省も財政措置を行うことになっていますが、今後ますます厳しい経営環境となることも想定され、将来的には更に財政措置が必要となる可能性があります。

今後とも、地域を守るために必要な地域公共交通の維持・存続に向けて活発に議論を行ってまいります。